

新しい年の新たな希望

前に進める一年でありますように…。

※書籍右横の番号はセンターでの検索番号です。



嫁ハンをいたわってやりたい
ダンナのための妊娠出産読本

2015年 講談社+アルファ新書
荻田和秀 (著)

[300-10]

著者はTVドラマ化もされた人気漫画『コウノドリ』のモデルになった産科医。妊娠から出産までに起こりうることやお産のリスクなどわかりやすく解説。

妊娠は子どもと出会う命がけの旅…。旅の伴侶がちょうど良い距離感でサポートするために役立つ知識や知恵がいっぱい。難しい話も軽快な大阪弁で、テンポよく進むのであつという間に読める。

ダンナだけでなく、新しい命をむかえるみんなが読んで、妊婦さんが快適にお産に臨めるようになってほしいと思う。(ルナ)



10代からの情報キャッチボール入門
使えるメディア・リテラシー

2015年 岩波書店
下村健一 (著)

[700-3]

ネット時代の今、ほとんどの10代は、食事より移動より、メディアを通じた情報キャッチボールに多くの時間をつぎこんでいる。気づかぬうちに被害者や加害者にならないよう、受信や発信の心得を「4つのジモン」「4つのジモン」としてキャッチボールにたとえて解説。(情報の) エラーしない捕り方、暴投しない投げ方を意識すれば、友人、そして世界との情報のやり取りもスムーズに流れる。具体的な例を多く取り入れ、10代だけでなくネットが苦手な読者でもメディアとのつきあい方を学べる。(かかし)



女性と子どもの貧困

2015年 大和書房
樋田敦子 (著)

[1100-3]

貧困から抜けだしたい心、それを助けたい心を、元新聞記者が描いたドキュメント。金銭の貧困の他、時間が無い、不健康、人間関係の脆弱さの貧困があり、それらが相まって問題を大きくする。生活保護手当も最後の砦にはならず、ついて回る困難に苦しむ人々…。

「助けが求められること」を知っていれば起きなかったであろう殺人事件の一方で、誰でもが陥りそうな貧困への道のりが書かれている。読めば自衛できるかも。

公共機関、NPOなどの援助の取り組みや、誰でもが人助け出来るヒントには救われる。(さっと)



女性たちの貧困

“新たな連鎖”の衝撃

2014年 幻冬舎
NHK「女性の貧困」取材班 (著)

[1100-3]

生活に行き詰った母とともにネットカフェで暮らす高校生と小学生の姉妹。空腹を満たす食べ物はなく、学校にも通えない。「ただ今日を生きるのみ」の貧しい生活は子どもたちの学業や技術習得の機会を奪い、次世代の新たな貧困につながっている。本書は女性たちの貧困と苦悩を真正面から取り上げメディアを通して社会に訴えた取材の記録である。キャリアバックに生活用品を詰め、その日の寝場所を求めて街を彷徨う女性や、風俗で生活の糧を得る若年シングルマザー。

彼女たちに夢を語る日が来ることを願う。(みっと)